

平成21年4月30日

各 位

会社名 大日本印刷株式会社
代表者名 代表取締役社長 北島 義俊
(コード番号 7912 東証・大証第1部)
問合せ先 広報室長 神戸 好夫
(TEL 03-5225-8220)

業績予想の修正、配当予想の修正及び役員賞与の減額に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年2月6日に公表した平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績予想及び平成20年5月9日に公表した期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。これに伴い、役員賞与を減額することいたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想(A)	1,620,000	46,000	46,500	9,500	14円68銭
今回修正予想(B)	1,584,800	46,100	47,300	△20,900	△32円30銭
増減額(B-A)	△35,200	100	800	△30,400	—
増減率(%)	△2.2%	0.2%	1.7%	—	—
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	1,616,053	87,104	86,502	45,171	67円08銭

(2) 平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想(A)	1,120,000	10,500	32,500	6,500	10円04銭
今回修正予想(B)	1,105,400	11,900	37,700	△19,900	△30円73銭
増減額(B-A)	△14,600	1,400	5,200	△26,400	—
増減率(%)	△1.3%	13.3%	16.0%	—	—
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	1,180,188	28,186	45,105	30,343	45円02銭

(3) 修正の理由

米国金融危機に端を発した世界規模での景気後退が深刻化する中、当社を取り巻く経営環境は、第3四半期以降急激に悪化しており、ほぼ全分野にわたり、厳しい状況が続いています。

なかでも液晶ディスプレイや半導体関連などのエレクトロニクス分野については、急激な需要の落ち込みと価格ダウンにより、業績は大幅に悪化しました。

現在、このような深刻な状況を克服するべく、市場の変化と技術の進展に対応した事業構造改革が不可欠との認識にたつて、生産拠点の集約や製造ラインの世代交代など、急激な受注環境の変化に迅速に対応できる体制への転換を進めています。

今後もエレクトロニクス分野を戦略部門と位置付け、改革に取り組んでいきますが、当分野の製造設備などについて、将来キャッシュフローに基づいて再評価し、約487億円の減損を実施する予定です。

また、株式市場低迷の影響により、投資有価証券評価損を約136億円計上する予定です。

2. 配当予想の修正

(1) 修正内容

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (平成20年5月9日発表)		18円00銭	36円00銭
今回修正予想		14円00銭	32円00銭
当期実績	18円00銭		
前期(平成20年3月期)実績	16円00銭	20円00銭	36円00銭

(2) 配当予想修正の理由

当社は利益の配分につきまして、株主の皆様へ安定配当を行うことを基本とし、業績や配当性向、資金需要などを勘案して実行しております。しかしながら、平成21年3月期業績が大幅な悪化となりますため、誠に遺憾ではございますが、平成21年3月期の期末配当の予想を修正いたしました。

3. 役員賞与の減額

業績予想の修正及び配当予想の修正を真摯に受け止め、取締役、役員(コーポレート・オフィサー)の賞与を、役位に応じて50%から20%の幅で減額します。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上